

令和3年度 東京データプラットフォーム ケーススタディ事業

# Project 02 行政データの積極的な 活用による「地域プロファイリング」の創生

## 実施概要

### プロジェクト実施者

東京大学エコノミックコンサルティング株式会社（プロジェクト代表者）

株式会社みずほ銀行

株式会社ゼンリン

株式会社東京商工リサーチ

# Project 02 行政データの積極的な活用による「地域プロファイリング」の創生 プロジェクトの目的と実施内容

## 【目的】

- ✓ 土地及び建物利用に関するデータや企業活動に関するデータを活用し、都内各地域の特性を分析
- ✓ スタートアップを含む様々な企業が、望ましい事業拠点を選定するための情報として活用すること等を目指す

### カテゴリ

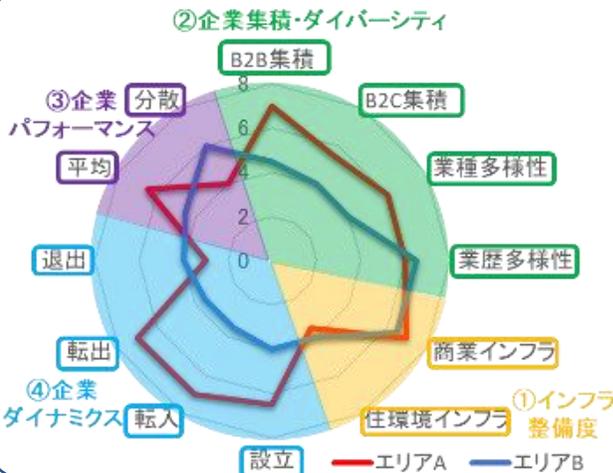
庁内データ又は  
オープンデータ活用

### 実施エリア

東京23区

### プロジェクト実施者

東京大学エコノミックコンサルティング(株) (プロジェクト代表者)、  
(株)みずほ銀行、(株)ゼンリン、(株)東京商工リサーチ



### ① インフラ整備度 (2指標)

- [解釈] 利便性の高いエリアか？
- [算出] エリアの施設に占める公共施設の割合等を計測し偏差値化

### ② 企業集積・ダイバーシティ (4指標)

- [解釈] 集積はあるか？ 多種多様な企業が所在しているか？
- [算出] 特定業種の集積度や業歴のばらつき等を計測し偏差値化

### ③ 企業パフォーマンス (2指標)

- [解釈] 収益性の高い企業が多く立地しているか？
- [算出] 立地企業の収益性を示す値の平均及び分散を計測し偏差値化

### ④ 企業ダイナミクス (4指標)

- [解釈] 参入・転入は活発か？ 転出・退出は抑えられているか？
- [算出] 参入率や退出率の逆数等を計測し偏差値化

(数値はイメージ)

	エリアA	エリアB
ビジネス環境指数	6	5
事業継続スコア	3	2

### ビジネス環境指数

- [解釈] 総じて当該エリアはどの程度魅力的か？

### 事業継続スコア

- [解釈] 翌1年間当該エリアで倒産等せずに事業継続できる確率を3段階のスコアで評価

# 効果検証結果

## 想定利用者・関係事業者

## 指標の精度検証

### 成果

- 分析結果の確認ツール（Tableau）を**12社**に提供
- ヒアリングは**15社**実施し、**全社がニーズありと回答**  
（スタートアップ、不動産事業者、飲食店チェーン、金融機関、投資ファンド、その他データ提供者、等）



環境の観点での有用さや、指標のユニークさ等への評価もあった

- 1年間での事業継続・倒産に関する予測について、多くの業種で**60～80%程度の正解率**となった
- 業種ごとのモデル構築が精度向上に繋がること、地域ごとの魅力度が業種によって異なることが確認できた

### 今後の期待への声

- **7割が「追加データが必要」と回答**

どのような追加データが必要か（「追加データが必要」と回答した10社の回答）

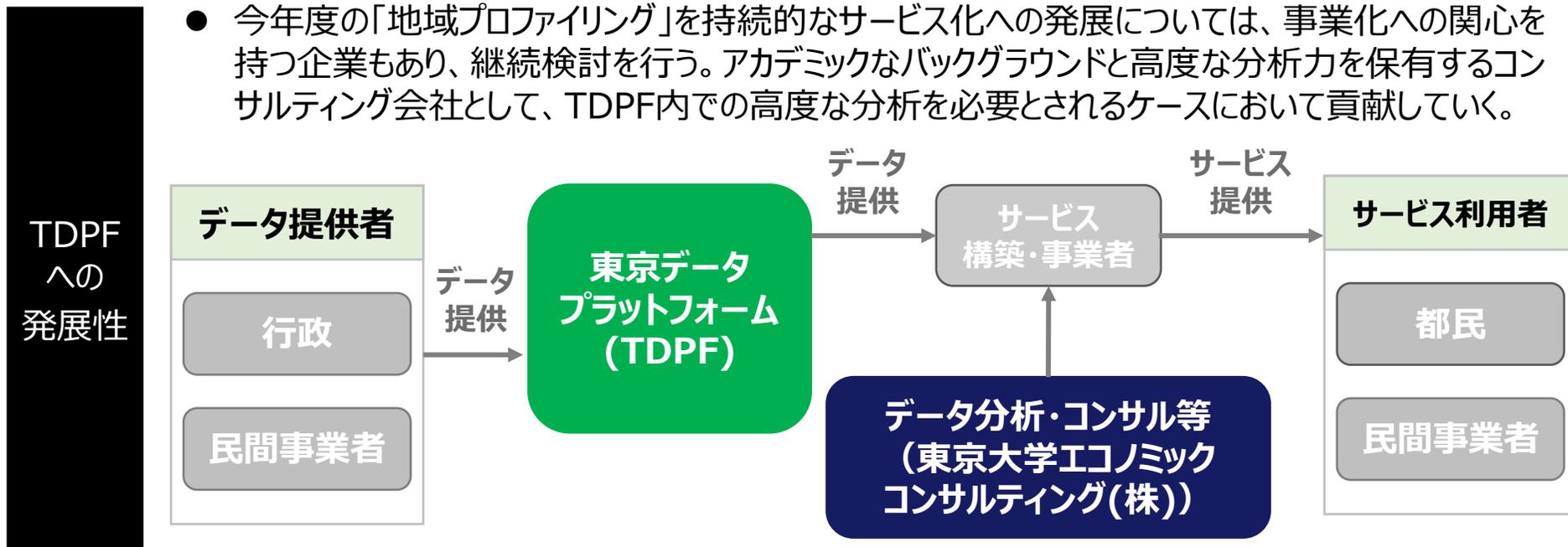


- **明確なユースケースの設定が必要**という回答もあった
- **東京都以外の主要都市等への拡大**を求める声もあった

- **個々の業種に対応した特徴あるモデルの構築が必要**
- コロナ禍における業況の大きな変化等の背景現象が精度に影響していたため、**社会・経済情勢の反映にも期待**

# TDPFへの発展性と今後に向けたポイント

- 今年度の「地域プロファイリング」を持続的なサービス化への発展については、事業化への関心を持つ企業もあり、継続検討を行う。アカデミックなバックグラウンドと高度な分析力を保有するコンサルティング会社として、TDPF内での高度な分析を必要とされるケースにおいて貢献していく。



## <取組に対する評価>

- 今回の取組の要諦は、“**企業向け「地域プロファイリング」という新たな価値提供へのチャレンジ**”。これに対し、ソリューション提供者として**高度なモデリングを構築**。プロファイリングの利用を想定する事業者からも、企業戦略策定等の観点で活用余地ありとの評価があった
- 今後は、データ分析のみに留まらず、企画・営業も含めたサービスとして提供できるための仕組み作りとして、事業主体となり得る事業者と連携。「地域プロファイリング」のコンセプトとデータ利活用ポイントは継承し、活用イメージを醸成していくことで、更なる発展が見込める